

テロ分子の暗躍を避け

汪兆名行動開始

期待される今後の動向

(ハノイ一日) 汪兆名は低調

の如く約一ヶ月の豫定で南部

佛印某地に赴いたがハノイに

於ける重慶政府秘密派テロ分

子の活躍は可成組織的なも

で汪一派の行動を監視する外

最近では無縁にも在留邦人の

行動をも監視して居る始末で

あるま

コロンガイの〇〇〇〇が完成す

る迄北海に歸ることはあま

いと見られてゐる

今回の

避難先は安南の西南部の

避署地で其他の秘書連は北海

に趕つて同志の間の連絡、佛

印各方面との接渉などに新調

活潑な運動を續けて居る

汪以後の運動方針に對する

秘書連の語る處を綜合する

汪は重慶側が從來の態度を

抛して公然と彼等を奸詐扱し

始めた點を非常に遺憾とな

我々は決して祖國を裏切る

ものがあらざる事、万人の

希望の政略を最も有利の條件で

締結せんとするものなる旨

此機会に日支兩國民に呼び

(ハノイ二日) 秋田震

震源地は能代川河口沖

後二時五十七分頃秋田縣下に震

れあり、震源地は能代川河口

（東京二日）秋田震

一日午海底の陥没による珍らしき強

さと見做し難い旨、次の如

く語つた

ドイツ外務省は去る廿八日

ヒットラー總統が國會で行

第六十四回 千八百四十一

（ハノイ二日）汪兆名は低調

の如く約一ヶ月の豫定で南部

佛印某地に赴いたがハノイに

於ける重慶政府秘密派テロ分

子の活躍は可成組織的なも

で汪一派の行動を監視する外

最近では無縁にも在留邦人の

行動をも監視して居る始末で

あるま

コロンガイの〇〇〇〇が完成す

る迄北海に歸ることはあま

いと見られてゐる

ヒ総統の演説と認めず

ハル米國務長官言明

（ワシントン二日）ハル國務

大便館に通達して來たが

後二回電話にて右寫しと對

大統領のメモセーチに對

られたヒットラー總統の國會

するドイツ政府の回答であ

るが政界消息通廿八日ドイ

ツ・ユレゴ兩國の關係好轉に

つて、これを観認してゐ

るとして、これが對認してゐ

るが政界消息通廿八日ドイ

ツ・ユレゴ兩國の關係好轉に

つて、これを観認してゐ

（ハノイ二日）秋田震

震源地は能代川河口沖

（東京二日）秋田震

一日午海底の陥没による珍らしき強

さと見做し難い旨、次の如

く語つた

ドイツ外務省は去る廿八日

ヒットラー總統が國會で行

（ハノイ二日）秋田震

震源地は能代川河口沖

天長のか節として

我等の日本病院落成式

母の會

血に狂ふ惨劇!!

一家五人無理心中

ピンガ中毒と自暴自棄から

笠戸丸建ひ式

在伯邦人の道しろべ

豆選士天に振ふ

剣閃めき肉相撲つ

第二世教育眞するの發露

馬の馬鹿船

浮腰の邦人農家

馬の馬鹿船

Notícias de S. Paulo
Primeiro Diário Nipponico
Publicado no Brasil

DARIO P. ALMEIDA
DIRETOR
ROCO KOWYAMA
PROPRIETARIO

Cax. Postal, 2765
Telephone 2-5855
Rua Assembléa No. 54
SÃO PAULO-BRASIL
ASSIGNATURAS
Anno 80.000
Semestre 30.000
Número do dia \$500
Exterior, anno 120.000

試合経過
一回表 峰谷佐藤投手最初
り妙なコントロールと、
直球で二者を凡打に打とり
直球で二者を凡打に打とり

抽籤の結果選出は云へり、
一回表もよいべき幸運をもつて、
峰谷が見事に勝利をもつて、
試合に△組勝つ放した事は兩軍
コチャが顔を合した事は兩軍
にともかく、見る者も勿論甲斐が
も實に群衆合意又興味百倍
まづく、五分々々とみるが
正にトーナメント式優勝戦
であつたし、一般からも
かく見られてゐたやうであつ
過日、峰谷は投げなかつたもの
指摘した。一方峰谷は投手佐藤
軍獨特の調子で三年連続を目
指した。

始された。
の喚声の中にコチャ先攻で開
始された。

優勝戦の跡を見る 火花を散した投手戦

聖市實業



「お華客さんへ使ひに行つて
道具の船を試験しようつてんや
お池へ浮べたら途中で停つち
やつたんです。竿ちや届か
ないし、仕方ないから入つた
らアタクタき」

「水のんだ」
「ナニ、そんな深いかない。
ポンをねらしてけですよ。ズ
代りに借りて來んだけどな
かなかいいズボンでせう」

さういつつ、フランのズボン
をつまんでみせた。ビンと折
「歸りたいな」

「お店なんかほんとにつま
られないわね」

「何んだつてお店へなんか來
たの？」

「僕ですか、歸る時にお土産
買つて行かうと思つてね。僕
は弟妹が八人もあるんで

「あ、なあ店の男たちはまるで
一瞬やかでせうね田舎なの
百姓ですよ。大きな柿の木
があつて、鶴がないでます」

「早く歸りたいでせう」

「歸りたいな」

「百姓ですよ。大きな柿の木
があつて、鶴がないでます」

「あら、相光り」

「あら、少しの間ではあつたが
玉子を振りほざかう」といふ
玉子がいとしなつた。

「あなたも来ませんか」
「ほんの少しの間ではあつたが
玉子を振りほざかう」といふ
玉子がいとしなつた。

「はしなかつた」
「きれいね、とごく自然にい
つて、振り返つた

「歸りませう」
「ウ、歸らう」

「玉子を振りほざかう」といふ
玉子がいとしなつた。

「はなつかつた」
「あら、少しの間ではあつたが
玉子を振りほざかう」といふ
玉子がいとしなつた。